

6 時刻帯別の人の動き

1. 平日の時刻帯別の発生量・集中量

- 大阪市を出発地、到着地とするトリップの目的構成を時刻帯別にみると、発生では18時台に帰宅目的でのピークが、また集中では8時台において出勤目的でのピークがみられます。
- また、自由目的においては、発生、集中ともに10時から18時にかけてほぼ一定の割合がみられます。

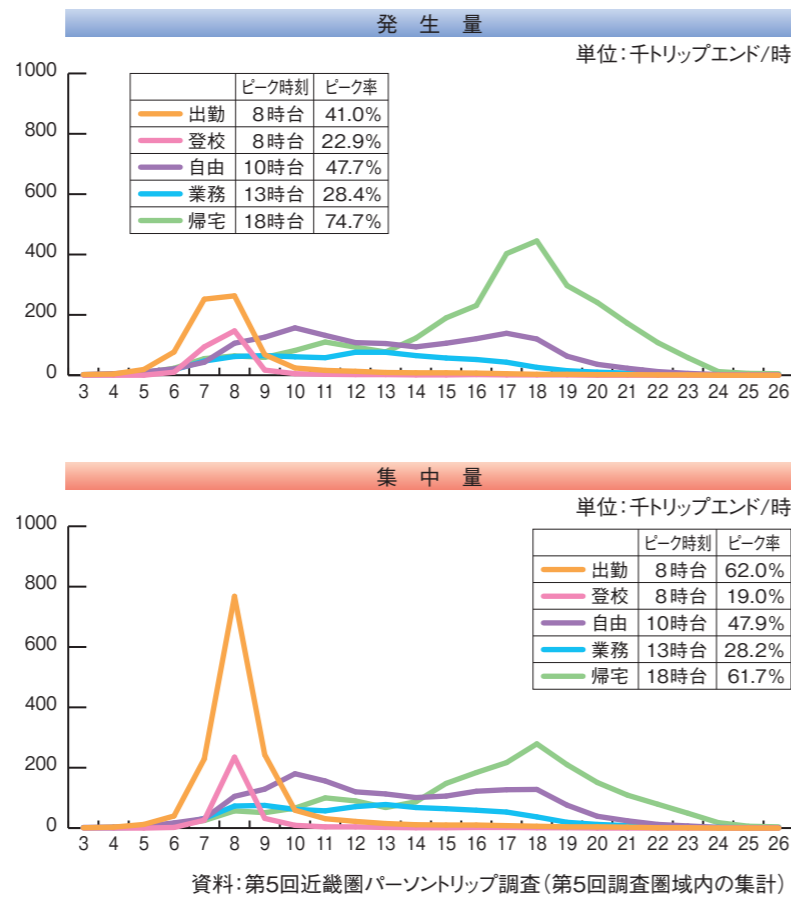


図32 大阪市における目的別の時刻帯別発生量、集中量(平成22年)

- 大阪市を出発地、到着地とするトリップの手段構成を時刻帯別にみると、鉄道は出勤の時間帯である7時、8時台と帰宅の時間帯である17時、18時台でそれぞれピークがみられます。
- 自動車は、7時から18時にかけてほぼ一定の割合がみられます。

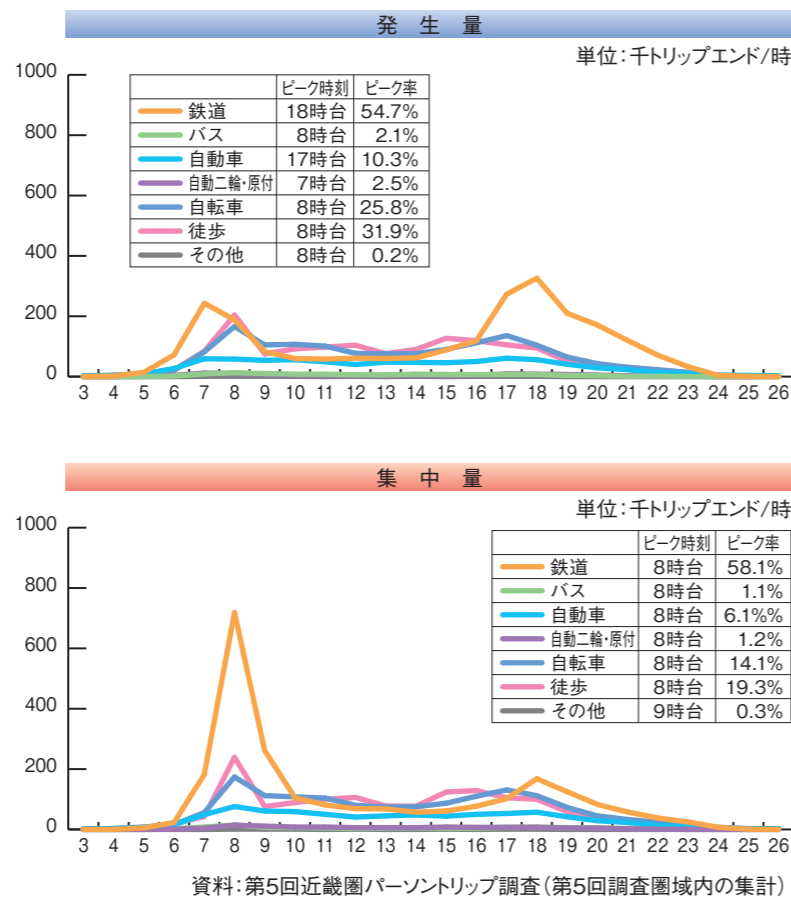


図33 大阪市における手段別の時刻帯別発生量、集中量(平成22年)

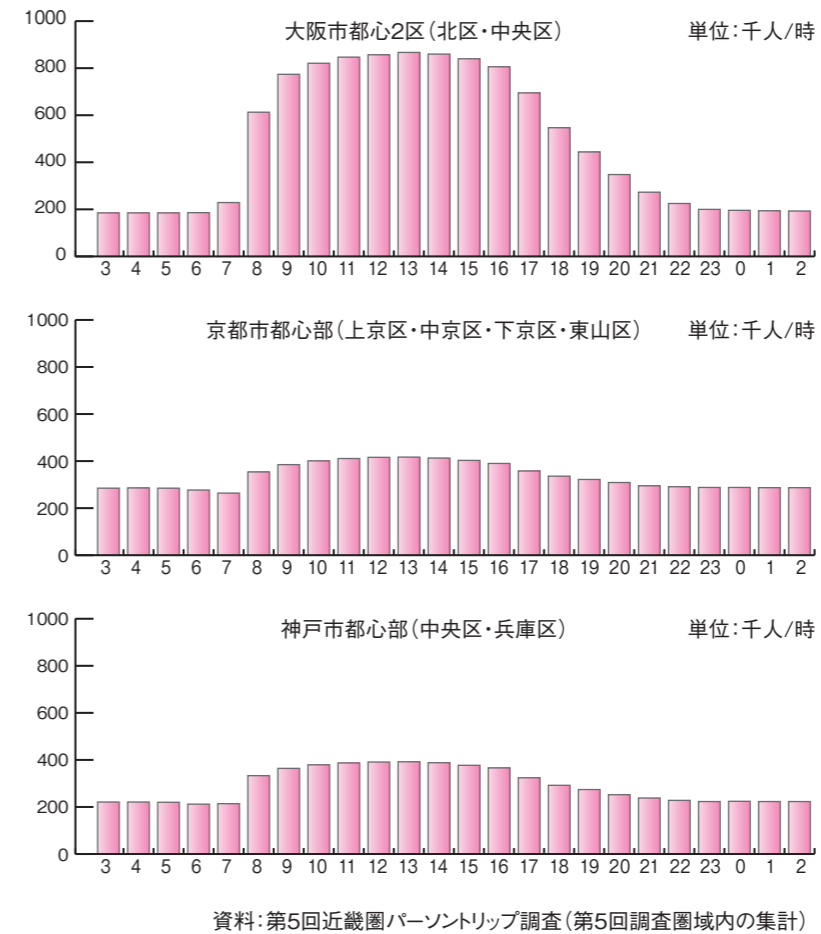


図34 地域別にみた滞留人口(平成22年)

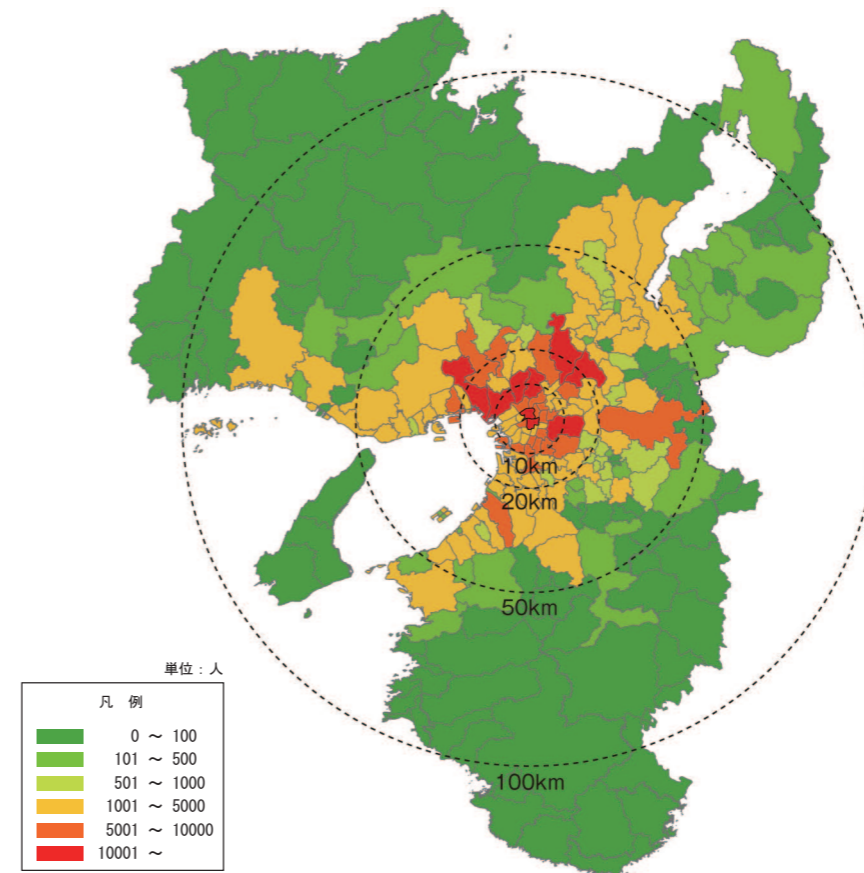


図35 大阪市都心部の9時における滞留者の居住地分布(平成22年)

2. 平日の時刻帯別の滞留人口

- 大阪市都心2区(北区、中央区)における滞留人口をみると、夜間(0~3時台)に比べて、昼間(12~15時台)には、約4倍の人が滞留していることがわかります。
- 京都市都心部(上京区、中京区、下京区、東山区)や神戸市都心部(中央区、兵庫区)と比べると、大阪市における昼間と夜間の滞留人口の差が大きいことがわかります。

- 9時に大阪市都心部(北区、中央区)に滞留している人の居住地をみると、概ね50km圏域に広がっており、京都市以東や神戸市以西に居住地をもつ人も大阪市に多く集まってきていることがわかります。